

Public Interest Incorporated Foundation for Shiretoko Institute of Wildlife Management

設立財団ニュースレター

Vol.28

2022年 11月25日発行

2022/6/10~8/8実施

クラウドファンディングの目標を達成しました！

ご支援者：**96人** ご支援総額：**2,525,000円**

ご支援・ご協力、どうもありがとうございました

当財団は2022年6月10日～8月8日の約2か月間、クラウドファンディングサービス「READYFOR」にて、「野生動物の共生を 知床ネイチャーキャンパスの継続を皆様と共に！」と題したクラウドファンディングを実施しました。知床ネイチャーキャンパスの安定的な継続開催を目的として支援を募り、目標の200万円を超える2,525,000円の支援を賜りました。ご支援いただいた皆様、情報拡散等でご協力いただいた皆様に心より感謝申し上げます。また知床ネイチャーキャンパスの講師、受講生をはじめ、野生生物管理に携わる企業の方などからたくさんの応援メッセージをいただきました。READYFORのサイトは引き続きオープンしていますので、ぜひご覧ください。

クラウドファンディングサービス
READY FOR WEB サイト



今回ご支援いただいた資金は、今後開催する知床ネイチャーキャンパスの開催費用や、新たな教育手法「ケースメソッド」で使うケース教材の開発等に活用し、この分野の教育活動や人材養成に役立てていきます。



READY FOR クラウドファンディングに
御協力いただいた皆様

峯浜水産様 株式会社野生動物保護管理事務所様
長野時彦様 中川伸一様
サージミヤワキ株式会社様
特定非営利活動法人EnVision環境保全事務所様
今井英夫様 ファームエイジ株式会社様
庭山久美子様 (以上 順不同)

※上記のお名前は、このたびのクラウドファンディングにご協力いただいた皆様の中で該当のコースを選択され、掲載のご許可をいただいた方々です。全体では96人(法人含む)の皆様からご支援をいただきました。

2022年12月開催

知床ネイチャーキャンパスpresentsオンライントークセッション2022

知床から伝えるーヒグマと共存する地域で大切な情報発信とは？を開催します！

日時：2022年12月13日（火）19:00～21:00

方法：オンライン開催（Zoomによる）

定員：50人程度

参加費：無料

★スピーカー



山本 幸さん

公益財団法人知床財団
事業部長



渡邊 圭さん

斜里町立知床ウトロ学校
教頭



平野 麻莉絵さん

一般社団法人知床しゃり
情報発信担当

★コーディネーター



敷田 麻実さん

北陸先端科学技術大学院大学教授
知床世界遺産科学委員会適正利用
・エコツーリズムWG座長

昨年9月に初開催した知床ネイチャーキャンパス presentsオンライントークセッションの第2弾を開催します。今回のテーマは「ヒグマに関する情報発信・普及啓発」。野生生物保護管理の現場では、自然環境や野生動物だけでなく人間側のマネジメントが重要視されており、特にヒグマと人が共に暮らす知床ではヒグマに関する情報発信や普及啓発が欠かせません。知床で実際にこれらの仕事に携わる3人のお話を聞き、適切で有効な情報発信とは何かを考えます。

<プログラム>

トーク1：山本幸さん

（知床財団が行う情報発信）

トーク2：渡邊圭さん

（知床ウトロ学校が行うヒグマ学習）

トーク3：平野麻莉絵さん

（知床トコさんや地域、観光などに関する発信）

トークセッション：コーディネーター敷田麻実さん

申込先：公益財団法人知床自然大学院大学設立財団

下記のGoogleフォームより、必要事項を記入の上、お申し込みください。



<https://forms.gle/5C82f5AXsJRekjXKA>

知床ネイチャーキャンパスpresents オンライントークセッション2022
知床から伝える
ヒグマと共存する地域で大切な情報発信とは？

2022年12月13日（火）19:00～21:00

オンライン開催（Zoomによる）
定員：50人程度
参加費：無料

申込先：公益財団法人知床自然大学院大学設立財団
公益財団法人知床財団事務局
〒999-8501 斜里町立知床ウトロ学校
主催：公益財団法人知床自然大学院大学設立財団

お申し込みはこちら
<https://forms.gle/5C82f5AXsJRekjXKA>

スピーカー：山本幸さん、渡邊圭さん、平野麻莉絵さん
コーディネーター：敷田麻実さん

講師紹介（敬称略）

<p>コーディネーター 敷田 麻実 北陸先端科学技術大学院大学教授 知床世界遺産科学委員会適正利用・エコツーリズムWG座長</p>	<p>トーク1 山本 幸 公益財団法人知床財団 事業部長 知床の自然環境や野生動物の保護管理に関する情報発信や普及啓発に携わっています。</p>
<p>トーク2 渡邊 圭 斜里町立知床ウトロ学校 教頭 知床ウトロ学校のヒグマ学習や、ヒグマと共存する地域での情報発信や普及啓発に携わっています。</p>	<p>トーク3 平野 麻莉絵 一般社団法人知床しゃり 情報発信担当 知床しゃりのヒグマに関する情報発信や普及啓発に携わっています。</p>

プログラム

トーク1：山本幸さん
（知床財団が行う情報発信）
トーク2：渡邊圭さん
（知床ウトロ学校が行うヒグマ学習）
トーク3：平野麻莉絵さん
（知床トコさんや地域、観光に関する発信）
トークセッション：コーディネーター 敷田麻実さん

知床ネイチャーキャンパスとは
野生生物の保護管理や環境教育の現場から、自然環境や野生動物の生態や文化に関する情報を発信し、地域住民や観光客への普及啓発に携わっています。

お問い合わせ
公益財団法人 知床自然大学院大学設立財団
〒999-8501 斜里町立知床ウトロ学校
TEL: 0112-26-7700 FAX: 0112-26-7701 e-mail: info@shirakami.ac.jp

2023年1~2月開催

知床ネイチャーキャンパス 3STEPで学ぶヒグマ管理

を開催します！

今回の知床ネイチャーキャンパスでは、それぞれ長所を備えた授業方法を用いて、「3ステップ」で「ヒグマ管理」を考え、理解を深めます。実学分野で用いられている「ケースメソッド」を導入した先進的な野生動物管理教育プログラムを開催します。

全プログラムをオンライン(Zoom)で開催します

① オンデマンド講義と予習

日時：2023年1月16日(土)～2月10日(金)
内容：ヒグマの生態と管理(講義)
ヒグマ管理と公園利用(ケース教材)

② ケースメソッドとワークショップ

★ 大学生・大学院生対象

日時：2023年2月11日(土)～12日(日)
定員：20人
受講料：4,000円

★ 社会人対象

日時：2023年2月25日(土)～26日(日)
定員：20人
受講料：10,000円

講師

オンデマンド講義・ワークショップ

間野 勉さん



北海道立総合研究機構 エネルギー・環境・地質研究所 専門研究員 IUCN/SSCクマ専門家グループ日本委員 知床世界自然遺産地域科学委員会ヒグマWG委員、適正利用・エコツーリズムWG委員 著書に「ヒグマ学入門」(共編著・北大出版会)、「日本の哺乳類2」(共著・東大出版会)など

ケースメソッド・ワークショップ

敷田 麻実さん



北陸先端科学技術大学院大学教授 知床世界自然遺産地域科学委員会委員・適正利用・エコツーリズムWG座長 著書に「地域資源を守って生かすエコツーリズム」(編著・講談社)、「はじめて学ぶ生物文化多様性」(編著・講談社)など

ケースメソッド・ワークショップ

伊集院 彩暮さん



公益財団法人知床財団 保護管理事業係 野生動物対策を担当し、日々現場対応に駆けずり回っている。

STEP1

オンデマンド配信講義

いつでも、どこでも、何度でも

まずはヒグマの生態や管理をオンデマンド配信の講義で学習します。期間中は好きな時間に、好きな場所で、何度でも視聴可能です。納得いくまでご活用ください。

STEP2

新教育法「ケースメソッド」

現場目線でディスカッションを

今回は新たにケースメソッド授業を導入します。ヒグマ管理担当者の物語を教材に、現場が抱える課題とその解決策について、受講者全員で意見を出し合って考えます。

STEP3

ワークショップ

現実的で有効なヒグマ管理を考える

実社会と同様、限られた予算内で有効なヒグマ管理の方法を考えます。異なる意見を持つ人々が集まって一つの対策を提案することが、現場で不可欠な合意形成能力向上のトレーニングになります。

★ ケースメソッドとは・・・

ケース教材（実際の出来事が物語的に記述されたもの）を読み、与えられた問いについて受講者間で討議して学習する授業方法です。社会人が学ぶ専門職大学院や経営学等の実学分野で多用されており、現実に即した実践的能力を養成するのに最も適した教育方法の一つとされています。実践しながらの統合的問題状況をそのまま扱うことができること、教師と学生の協働作業によって進行すること、オンラインでの実施も可能なことなどが特徴です。

申込先：公益財団法人知床自然大学院大学設立財団
 右記のGoogleフォームより、必要事項を記入の上、
 お申し込みください。

お申し込みはこちら ▶
<https://forms.gle/kUp5653hKtKcN7QR7>



知床ネイチャーキャンパス 3STEPで学ぶヒグマ管理

「ヒグマ管理」を題材に、野生動物管理全般に共通する実践的能力を磨きます！

1. オンライン講座と学習
 2023/1/16(月)～2/10(水)

2. ケースメソッドとワークショップ
 2/11(土)～12(日)

3. 修学人対象
 2/25(土)～26(日)

講師紹介 (講師) にスケジュール

講師 (オンライン配信) と学習 2023.1.16～2.10 修学人対象

ケースメソッドとワークショップ (オンライン配信) 2/11～12 修学人対象

2/25～26 修学人対象

「野生生物と社会」学会に参加しました

2022年10月28日～30日、「野生生物と社会」学会の第27回大会が、北海道江別市の酪農学園大学を会場に開催されました。29日開催のテーマセッション-4「野生生物の保護管理に関する専門家の育成と認証制度を考える」には、7人の講演者の一人として中川業務執行理事が当財団が取り組んでいるリカレント教育について報告しました。テーマセッションは2日間にわたって12のテーマで開催されましたが、そのうち3つが人材育成に関するもので、人材育成は学会としても重要な課題として取り組まれていることがわかります。

ポスター発表はオンラインとなりましたが、船木研究員から「野生動物保護管理専門職の現場教育の可能性-その6」として、今年実施した「知床ネイチャーキャンパス・リカレント2022」の結果を中心に発表を行いました。ポスター発表は全体で51件と盛況で、オンライン上で活発な質疑や議論がなされました。また、一般市民を対象にした公開シンポジウム「市街地におけるエゾシカ・ヒグマ問題を考える」には道央在住の役員も参加し、札幌市をはじめ各地で問題となっている市街地への大型野生動物の侵入について報告とパネルディスカッションが行われました。

野生動物保護管理専門職の現場教育の可能性-その6

船木 大貴 / 中川 元 / 船木 一穂 / 船木 真由美 / 船木 真由美 / 船木 真由美

1. 野営... 2. 知床ネイチャーキャンパス・リカレント2022 開催結果... 3. オンライン講座... 4. 現場教育・演習アンケート結果(回答数: 51)... 5. アンケート自由記述(講師・参加者)...

「野生生物と社会」学会で発表したポスター

斜里高等学校「知床学」の授業を担当しました

今年度、北海道立斜里高等学校2年生「知床学」の2講義とフィールドワークを、当財団で担当しました。知床学は「知る」「広げる」「伝える」を目標に、故郷の「良いところ・魅力」と「問題点・課題」の両面を学びます。生徒自らが課題を設定し、その解決方法を探り、発表する授業です（斜里高校・学校パンフレットより）。2年生のテーマは「知る」。斜里町の産業や歴史、自然などさまざまな角度の授業が行われている一環で、当財団では観光や生態系、自然環境と開拓・保護の歴史について担当しました。

まず6月21日、知床アルパ株式会社のネイチャーガイドで、当財団の笠井文考理事が「ネイチャーガイドの仕事とエコツーリズム」と題して講義を行いました。



2022年6月21日 講義

7月19日は、中川元業務執行理事が「知床の生物多様性と希少種の保護」と題した講義を行い、知床が世界遺産になった経緯や多様な動植物を紹介しました。



2022年7月19日 講義

そして9月27日には、自然と人の関わりについて学ぶ「フィールドワーク」を行いました。まずは元斜里町長で評議員の午来昌さんの自宅に伺い、午来さんの自然保護活動のあゆみや、町長として取り組んだ知床の世界自然遺産登録への思いを伺いました。最後には「自然豊かなふるさとに誇りを持ち、諦めないで自分の道を歩いて！」と高校生に温かいメッセージも。中川業務執行理事からもスライドを使って、漁業や開拓の歴史、知床100平方メートル運動の始まり、1980年代の知床伐採問題など保護のあゆみについて説明しました。



2022年9月27日 午来昌元斜里町長の自宅

その後知床100平方メートル運動地や知床五湖の高架木道を歩き、中川業務執行理事、船木研究員が、現在の森づくりの状況や人とヒグマの共存策など、知床で人と自然がどう関わってきたかを詳しく説明しました。知床峠では羅臼岳や国後島を眺め、高山帯の植生の特徴や国後島の自然などを解説しました。

当日は気持ちのよい秋晴れで、お天気に恵まれました。知床五湖からの知床連山、知床峠からの羅臼岳もくっきり美しい姿を見せてくれました。



2022年9月27日 知床100平方メートル運動地

京都市立西京高等学校研修旅行の知床学習を担当しました

2022年10月4～5日、京都市立西京高校2年生56人が研修旅行で知床を訪れ、当財団が知床学習のコーディネートを担当しました。西京高校生が研修旅行で知床を訪れるのは昨年続き2回目で、今回は自然環境保全と観光の両立をテーマに、講義やフィールドワーク、ワークショップなどを行いました。



まずは当財団の中川元・業務執行理事が「知床の姿～生態系と生物多様性～」と題して講義を行いました。知床が世界自然遺産になった理由である生態系や生物多様性の豊かさを説明しました。



今回は観光がテーマだったので、午後からは知床の観光関係者との交流の時間を設けました。斜里町の河井謙・商工観光課長に知床観光の全体像を講義いただいた後、北こぶしリゾートの村上晴花さん、当財団理事で知床アルパ株式会社の笠井文考さんとともに車座になって、質疑応答を行いました。



講義を受けて、いざ知床五湖へ。あいにくの風雨で倒木が発生し、地上遊歩道は閉鎖。特別に地上遊歩道を歩く前に行う事前レクチャーを受けさせてもらい、ネイチャーガイドの引率で高架木道を歩きました。安全で歩きやすい高架木道とはいえ、この天気で散策後はびしょ濡れになってしまいましたが、一湖そばではヒグマを発見。湖を泳ぐ姿などが観察できました（電気柵が張り巡らされ、ヒグマが登れない高架木道からの観察なので安全です）。



その後チームに分かれ、ワークショップへ。今回は「観光を通じて何ができるか？～知床の未来のために～」というテーマで、1、理想的な知床の未来、2、未来のために課題になっていること、3、課題解決に貢献する観光のあり方、の3ステップを考えてもらうことにしました。長かった1日目はここで終了です。



2日目は、地元斜里高校生との交流からスタート。「観光ビジネス」という授業を履修している3年生9人に会場まで来ていただき、地元企業応援のための販売会の開催や観光アプリの開発など、授業での取り組みを発表していただきました。その後は3チームに分かれて懇談。最初は硬かった生徒さんたちも徐々に打ち解け、最後には一緒に写真を撮ったり、笑い声が聞こえたりしていました。



プログラムの最後に、前日に議論したワークショップの発表会を行いました。「緊張感をもって知床の自然に入るために、アートの力で厳粛な雰囲気を作り上げる」「西京みそのように、知床鮭などと地域産品をブランド化し、観光業だけでなく漁業、農業の発展につなげる」など、さまざまな角度から知床の未来を考えた発表を聞くことができました。

1日半の間にいろいろな人の話を聞いたり、質問したり、実際に散策したり、議論したり……。ハードスケジュールだったと思いますが、これらの経験を生かして今後も充実した学校生活を送ってほしいと思います。

※当財団は各種研修や研修旅行において、知床での実習やコーディネートのご相談を受け付けております。
お気軽にお問い合わせください。

知床自然大学院大学設立財団のおすすめ本紹介



実践 野生動物管理学

鷲谷いづみ 監修・編著
梶光一・横山真弓・鈴木正嗣 編著
培風館（2021年）3,000円＋税

野生動物と人との間に生じる軋轢は、農山村から都市部へも広がり、喫緊の課題として対策が急がれている。限られた資源を分かち合い、持続可能な社会と生物多様性を守って行くためのマネジメントが求められる時代となった。

日本学術会議による「人口縮小社会における野生動物管理のあり方に関する検討会」の提言が出され、この課題解決には専門的能力を有する人材の養成が急務とされた。専門家と国の担当部局によるコアカリキュラムの作成、実施体制の検討と試行が始まっている。本書はそうした流れの中から生まれた。

野生動物管理の専門職を目指す学生さんや現職の皆さんはもちろん、一般の方々にも野生動物管理(ワイルドライフマネジメント)の考え方や科学的管理の基礎知識を得ることのできる一冊としてお勧めしたい。(中川 元)

知床自然大学院大学設立財団は、 活動を支援して下さる **賛助会員、寄附金** を募集しています

当財団の事業は皆様から寄せられた浄財によって実施されています。何卒、一層のご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。なお、当財団は内閣総理大臣の認定を受けた公益財団法人です。当財団への寄附金・賛助会費は、特定公益増進法人に対する寄附金として税法上の優遇措置が適用されます。法人の皆様には損金算入限度額の優遇措置が、個人の方には所得税の税額控除（または寄附金控除）の対象となります。また遺贈も承っております。詳しくはホームページ、または当財団事務局までお問い合わせください。

■賛助会員とは

この財団の目的に賛同する個人・団体・法人が会費を通じて支援するものです。

■会員の年会費 ※年度ごとの納入となります。

個人会員：5,000円

団体会員：10,000円

法人会員：20,000円

法人特別会員：100,000円

■加入申し込み方法

「申込書」と「郵便振替用紙」をご使用ください。これらは当財団ホームページからプリントアウトできます（入金は右記口座への入金でも受付しています）



知床自然大学院大学設立財団ホームページ

賛助会員・寄附金募集ページ

<http://shiretoko-u.jp/supporter/>

■賛助会員の特典

当財団のニュースレターや絵はがき、講演会やネイチャーキャンパス等の案内情報をお送りします。

■寄附金について

寄附金も随時募集しています。賛助会員加入同様にお申し込みください。

■税制優遇について

当財団への寄附金・賛助会費には税制上の優遇措置があります。

■主な入金口座について

ゆうちょ銀行 記号19940（普）10138691

（※他の金融機関から 店名九九八 番号1013869）

北洋銀行斜里支店 店番452（普）3119440

北海道銀行斜里支店 店番904（普）0530326

網走信金斜里支店 店番003（普）0284957

大地みらい信金羅臼支店 店番003（普）1072873

設立財団ニュースレター 第28号

発行 公益財団法人知床自然大学院大学設立財団

〒099-4117 北海道斜里郡斜里町青葉町 28-10

TEL 0152-26-7770 FAX 0152-26-7773 E-mail sizendaigaku@wine.plala.or.jp

Web <https://www.shiretoko-u.jp>

発行日 2022年11月25日